

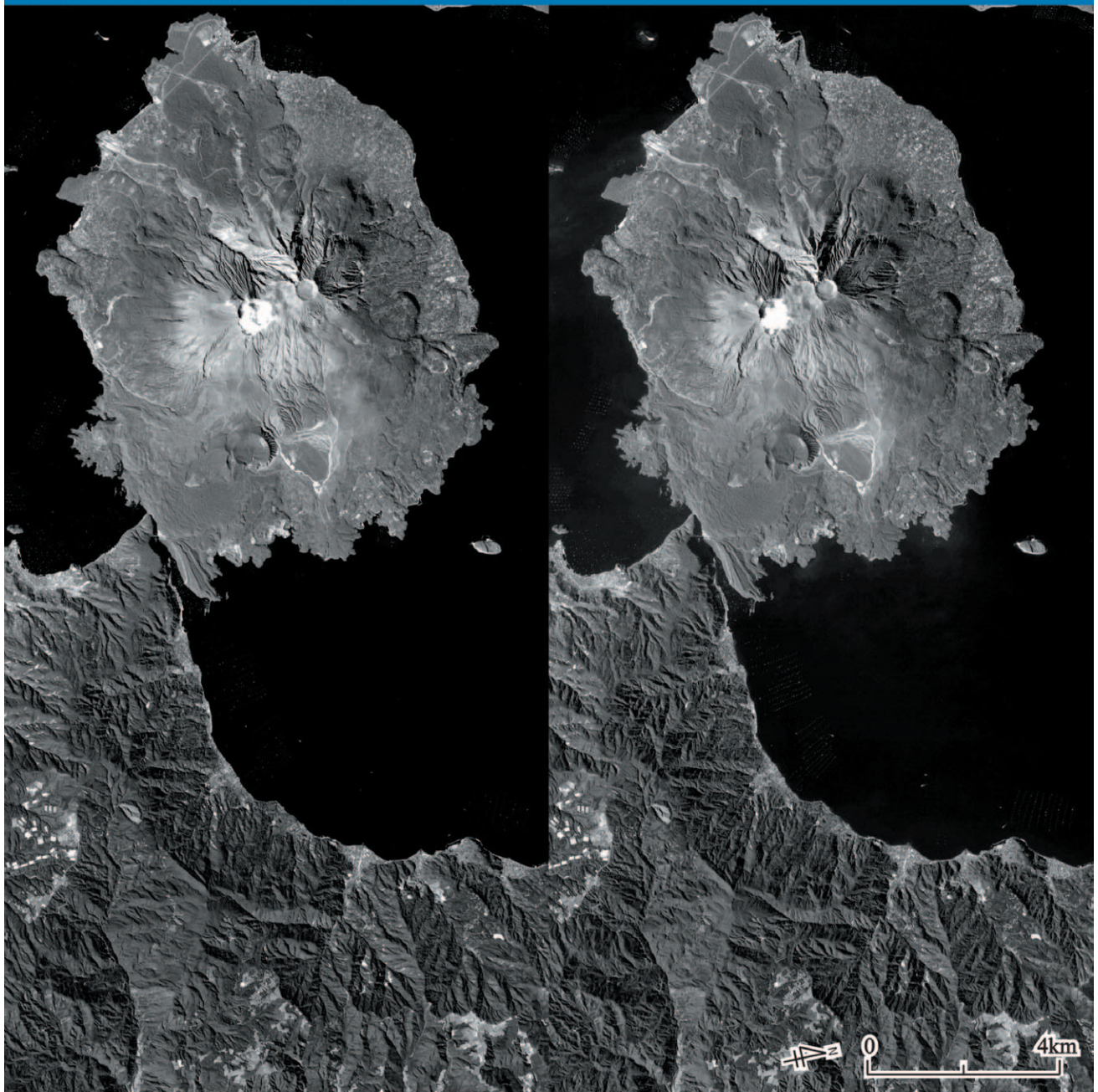
陸域観測技術衛星ALOS (だいち) がとらえた鹿児島県桜島周辺 (2)

データ提供：財団法人リモート・センシング技術センター

データ処理：東京理科大学・国土情報工学研究会

前述したパングロマチック立体視センサ (PRISM: Panchromatic Remote sensing Instrument for Stereo Mapping) が観測した桜島周辺の画像を並べてみました。左側は後方視画像、右側は直下視画像です。両眼視差を利用して画像を立体として認識する、いわゆる立体視ができます。下図を両眼に近づけてからゆっくりと離しつつ画像を注視し続けて下さい。二つの画像が中央によってくるとともに、とくに桜島などのように起伏の大きい箇所が浮かび上がり、立体的に見えてくるはずです。PRISMから得られる高さ方向の数値データ (数値地形モデル) は、地形分析、地図作成、都市の構造分析など、さまざまな方面での利用が期待されています。

ALOS PRISM 観測日：2006年11月8日



後方視画像

直下視画像

© JAXA Distribution RESTEC